



発行 古河市立三和東中学校
発行日 平成29年3月10日(金)

卒業、おめでとう！87名の卒業生が巣立つ！ ～平成28年度第30回卒業証書授与式の挙行～

3月10日(金)、第30回卒業証書授与式を実施しました。今年度は87名の卒業生が巣立っていきました。式は2年生の鈴木佑弥さん、関根理桜さんの進行で行われました。卒業証書授与では、「卒業おめでとう！」の学校長の声かけに、卒業生は「ありがとうございます」と返事をしたり、笑顔を見せたりしてくれました。続いて、田嶋貴子校長が式辞を述べ、教育部参事兼学校給食課長の塚原明様、市議会議員の増田悟様、教育委員の三宅俊子様、本校PTA会長の菅原清隆様から祝辞を頂戴しました。

贈る言葉は、鈴木颯馬さんが在校生代表となり、1、2年生が卒業生との思い出をメッセージや呼びかけとして述べ、卒業生との別れを惜しみました。この贈る言葉を受けて、巣立ちの言葉では、塚原麻結さんが卒業生代表として、3年間を振り返り、卒業生としての思い出やお世話になった保護者や先生方、友人への感謝の言葉を述べてくれました。また、これからの決意、そして、在校生へのメッセージなどを述べました。

涙する生徒、それを我慢する生徒、うつむく生徒、笑顔を見せる生徒等、それぞれでしたが無事に卒業式は終了しました。輝かしい未来に向かい、大きく翼を広げて三和東中学校を巣立っていく卒業生のご活躍を、心からお祈りいたします。



【巣立ちの言葉】(要約)



今振り返ると、この3年間いろいろなことがありました。体育祭ではムカデ競走が印象的でした。みんなの足と気持ちを合わせることで1つの大きなチームになりました。血だらけになっても服が汚れても何度も立ち上がりました。本番ではみんなで笑いみんなで泣きました。感情を分かち合う楽しさを学びました。東輝祭では、体育館いっぱいに響きわたった合唱が感動的でした。3つのパートで歌うため、完成への道はとても困難でした。だからこそ、みんなで励まし合い助け合い、本番ではみんなの思いをいきいきと表現することができました。一つに団結する難しさ、協力する大切さを学びました。これらの行事を通して築き上げた関係は一生はなれることのない絆となりました。時には仲間を傷付けたり対立したりしたこともありますが、そうやって本音でぶつかり合えるからこそ、この絆は本物なのだと思います。

辛いとき苦しいとき悩んでいるとき、いつもみんながいてくれたから、私たちは今ここに笑顔で立っていることができます。先生方には受験生だったこの1年間、本当に一生懸命に私たちのことを考えてくださっていることをはっきりと感じました。私たちは先生方からの言葉の数々をしっかり刻み込んで、新たな道を歩んでいきたいと思えます。また、この15年間、いつも大きな愛情と優しさを持ち、陰で応援してくれた家族には、心から感謝しています。反発したり生意気なことをたくさん言ったりしましたが、いつも広い心で私たちを受け止めてくれました。きっとこれから始まる慣れない生活に、私たちは、今まで以上に心配や不安を抱かせてしまうかもしれませんが、温かい心で見守ってください。いつもは恥ずかしくてなかなか言えないけれど、大好きです。ありがとうございます。そして部活動や委員会、行事でたくさん関わった在校生の皆さんには、出合いのすばらしさを教えてもらいました。2年生の皆さん、今皆さんのすぐ隣にいる仲間存在を当たり前と思わず大切にしてください。1年生の皆さん、これから先輩になりますね。期待と不安でどきどきしている新入生に優しく接し、支えてあげてください。

今まで私たちを支えてくださった全ての皆様に「ありがとう」の言葉を贈ります。皆様のご健康と、三和東中のますますのご発展をお祈りして、巣立ちの言葉といたします。

【贈る言葉】(要約)



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、先輩方の心の中ではこの三和東中学校で学んだことや体験したことなど、様々な思い出がよみがえってくることでしょう。先輩方との思い出を振り返ってみると、今まで過ごしてきた楽しかった日々が次々と浮かんでまいります。先輩方は学校生活においても、部活動においても私たち後輩をリードしてくださいました。部活動での最後まで全力で取り組む姿には「これぞ、先輩」という場面を何度も目の当たりにしました。そんな先輩方は、私たちのあこがれであり、目標でもありました。5月に開催された体育祭。仲間と励まし合いながら勝利を掴もうとする姿は今でも心に残っています。ムカデ競走を前に円陣を組んでいる姿には「強い絆」を感じることができました。先輩方の強い絆を感じたのはそれだけではありません。10月に行われた東輝祭。それぞれのクラスの歌には個性があり、真剣に練習を積み重ねてきた先輩方の歌声は、会場にいた全ての人々の心に響き渡り、私たちは大きな感動に包まれました。先輩方と共に過ごした学校生活。「Keep the challenge」というスローガンは、先輩方が部活動、勉強面、目標に向かって取り組む姿そのものだと思います。

これまで先輩方が築き上げた三和東中学校の伝統を私たちがしっかりと引き継ぎ、この学校をさらに素晴らしい学び舎へと導いていきたいと思えます。そして先輩方のように、この学校の輝かしい歴史の1ページを作り上げていけるよう、日々懸命に取り組んでいくことを誓います。どうか先輩方は、この学び舎で学んだことを生かし、「Keep the challenge」「挑戦し続ける」、その精神で、自分の道を切り開いていってください。

卒業記念合唱

手紙～拝啓十五の君へ～

拝啓 この手紙を読んでいるあなたは どこで何をしているのだろう
十五の僕には誰にも話せない悩みの種があるのです
未来の自分に宛てて書く手紙なら きっと素直に打ち明けられるだろう
今負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな僕は 誰の言葉を信じ歩けばいいの
ひとつしかないこの胸が何度もばらばらに割れて 苦しい中で今を生きている 今を生きている

拝啓 ありがとう 十五のあなたに伝えたいことがあるのです
自分とは何でどこへ向かうべきか 問い続ければ見えてくる
荒れた青春の海は厳しいけれど 明日の岸辺へと 夢の舟よ進め
今 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうな時は 自分の声を信じ歩けばいいの
大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど 苦しくて甘い今を生きている

人生の全てに意味があるから 恐れずにあなたの夢を育てて
Keep on believing

負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな僕は
誰の言葉を信じ歩けばいいの
ああ 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうな時は
自分の声を信じ歩けばいいの
いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど
笑顔を見せて 今を生きよう

感謝の思いを込めてー3年生を送る会

3月8日(水)に、生徒会の企画・運営による3年生を送る会が開かれました。開会式、生徒会企画、閉会式の三部構成で、感謝の気持ちを込めた厳粛な部分と、笑い涙ありの出し物の部分と、たいへん充実した内容となりました。それぞれの学年主催の出し物では、1年生が学年合唱「そのまの君へ」、3年生への呼びかけメッセージ等、2年生が3年間のそれぞれの思い出と、異動した職員からのメッセージなどのビデオレター、インタビュー等、感謝の思いが一杯に詰まったアイデア豊富なすばらしい発表がなされました。それを見て、3年生は、自らの3年間を振り返り、感極まり涙ぐむ生徒がたくさんいるなど、卒業式を前に心温まるすてきな時間となりました。

